

杣差岳

期 日：7月7日 曇のち雨

コース：奥胎内ヒュッテ5：20→登山口5：31→御用平5：33→岩場6：22→姫子の峰6：38→滝見場7：28→英三ノ峰7：31→ヒドノ峰8：08→水場分岐8：17→イチシ峰8：57～9：16→ヒメサユリ咲き出す10：20→西ノ峰10：21→大石山10：34→鉾立峰11：46→記念碑12：26→杣差岳避難小屋12：41～12：55→杣差岳山頂13：05→泊

8日 雨のち曇り晴れ

杣差避難小屋4：40→鉾立峰5：17→大石山6：10→西ノ峰6：22→水場分岐7：09→ヒドノ峰7：18→英三ノ峰7：45→滝見場7：46→姫子ノ峰8：44→足の松尾根登山口9：42→奥胎内ヒュッテ11：03

参加者：M・T

報 告：



奥胎内ヒュッテの玄関前から杣差岳登山口への乗合タクシーが出ている。始発5：30分に乗る予定で行くと、ジャンボタクシーが居て満員になると時間前に出発した。あまり時間は関係ないようです。僅か10分なので乗り切れないときは行ったり来たりしてくれるそうだ。柔軟をして同じバスで来た6人組より一足先に出発する。

暫くは御用平と呼ばれるブナ林の中を歩く。



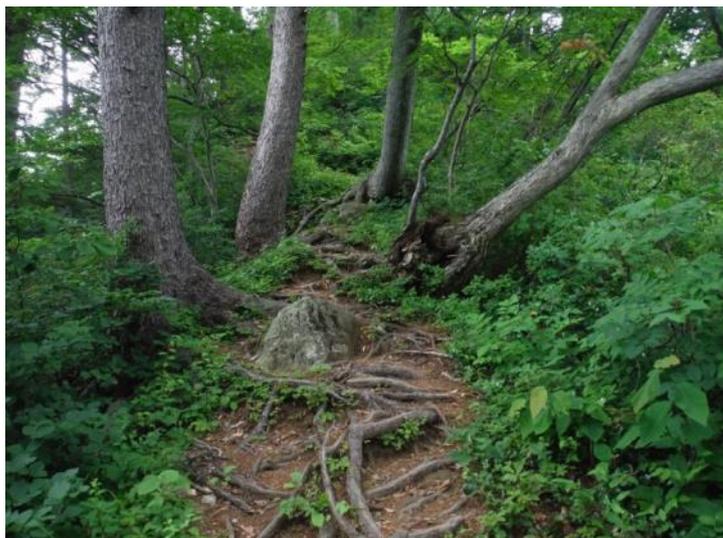
名前の由来だろうか松の根が張り出した登山道を歩く事になる。



15分ほどのブナ林歩きの後、いよいよ足の松尾根本領発揮の登りが始まった。



登山道です。両脇は深い谷になっているので慎重に乗り越え歩きます。尾根幅は広いところで2メートルぐらいですが、痩せ尾根が続きます。



最初のピーク。



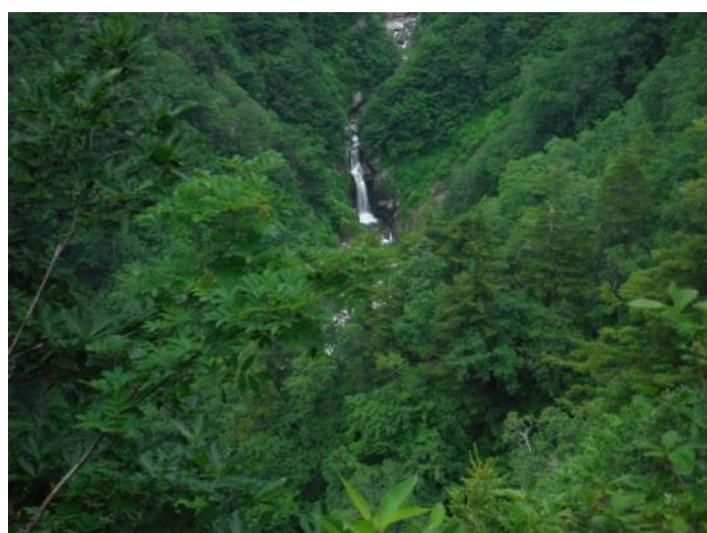
飯豊の稜線が長ーく横たわるの見える。



滝見場到着。花も目にするようになる。



深い谷筋に流れる滝が見える。



滝見場の標識から5分ほどで英三ノ峰に着く。5万回の英三ノ峰標示が違うのか？暫く一緒に歩いた方に教えてもらった遠くに二つ峰。手前に頼母木小屋が見えた。今日、泊まる予定の小屋。



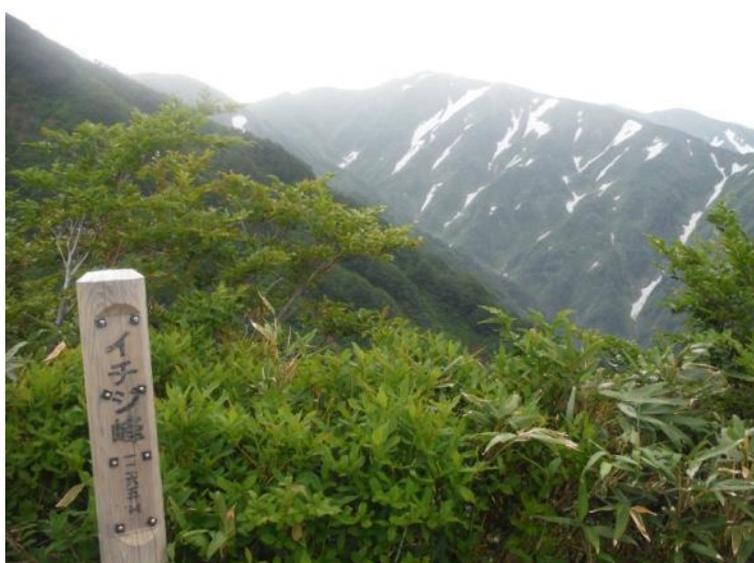
ヒドノ峰



水場分岐には太いザイルが木の根本に束ねてあった。計画段階から水汲みに行く予定なし。



イチジ峰



初めての大休止。朝食を摂る。
教えてもらった二つ峰？空模様が気になる。





10:00頃から雨が降りだした。今日、初めてのヒメサユリ見つけ！この先ヒメサユリはどんどん出て来る。やっと西ノ峰着。



登山道わきに咲き誇るヒメサユリ。いくら撮ってもやめられない。



四葉ヒヨドリ



ウスユキソウ



ネバリノギラン



マルバシモツケ

やっと、大石山山頂。



ヨツバシオガマとネバリノギラン



ミヤマカラマツ



ニッコウキスゲ



オオバノヨツバムグラ



鉾立峰には標識無し。



やっと着いた杵差岳避難小屋。

雨で濡れたザックカバー等を干して寝場所を確保。

一番乗りなので、隅に陣取る。もう、頼母木小屋に行く気力無し。雨がひどくなりそうなのと、靴の中に雨が浸みてブカブカして気持ち悪い。夏山の為に購入した新しい靴なのに、信じられない！靴下は絞れるほど濡れている。帰宅したら、早速購入店に行かなくては！濡れた靴下、洋服等も干してから杵差山頂に向かう。



杵差岳山頂は標識は無く祠が静かに立っているだけだった。頑張って手を伸ばして一人記念写真。辺りを散策して小屋に戻る。団体さんは2時ごろ到着。同じころ他に2人の登山者。その夜は2階に6人下に私を含めて3人の宿泊となった。翌日は小雨の中4:40分小屋を出て往路を戻った。ただし、タクシーは15:00台からしかないなので奥胎内ヒュッテまで林道歩きとなった。